

多宝会新聞

法人創立二十五周年特集

多宝会は本年、法人創立二十五周年の佳節を迎える。今号より数回にわたり、これまでの多宝会における主な取り組みを紹介していく。第一回は「多宝会におけるDX化」である。多くの企業がDX化に取り組むようになった昨今、厚生労働省では2021年4月より科学的介護情報システム「LIFE」の運用を開始した。DXや科学など、介護との結びつきには多くの課題もあるが、今号では、そこへの挑戦の一端を記す。

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp

多宝会におけるDX化

DX。2004年にスウェーデンの大学教授によって提唱された概念であり、内容は「進化し続けるテクノロジーが人々の生活を豊かにしていく」というものであるが、昨今のコロナ禍もあり、

急浮上した言葉である。身近なDXとしてあるのが、在宅ワークに伴う「脱はんこ」。この動きは、民間企業のみならず行政までも巻き込んだ。人との接触を避けるための在宅ワークであるが、決裁のハンコをもらうために出社。これでは本末転倒である。そのため、行政を含め「脱ハンコ」の

動きが広まった。しかし、多宝会では既に10年前から起案、考察、決裁の全てをデジタル化し、PCまたはタブレットの中で完結する取り組みを行ってきた。

理事長最高承認案件はもちろん、有給届、報告書など、施設長、課長などの承認案件も可能であり、リーダー、課長、施設長と段階を追っての承認案件も可能である。また環境が整っていれば、外出先での承認も

可能である。システム構築以前は、紙ベースであった。紙の起案書に起案内容を記入し承認、その書類をまた施設に戻してバインダー等に綴じる。時間も手間もかかる作業であったが、システム導入により、合理化が各段とすすみ、確実なアライブ、不正防止等にもつ

ながった。もちろんペーパーを使用しないため、SDGsの一翼も担っている。しかし、このシステムを導入した理由は、介護の現場において、日々業務に追われている職員の負担を軽減し、働きやすい環境の構築を目指した結果であり、デジタル化そのものが目的ではない。また、他には、全施設長が参加する最高経営会議のリモート開催システムの構築やWeb面会システムの構築を行った。これら多宝会では、DXの意味である「デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること」。「既存の価値観や枠

を保持し、自立した日常生活を支援することを理念とした制度ではあるが、実際には、科学的に効果を実証された介護が充分に行われていなかった。そのため厚生労働省では、平成28年より通

により、介護現場から集まったビッグデータを基に、利用者一人ひとりにあった介護を行うことができる。もちろん多宝会でもこのシステムを利用しているが、多宝会では2002年に定められた「運営指針」の中に「ご利用者の主体的決定を尊重し、人間主義に立脚した「科学的ケア」を基本とする技術の向上に努め、最大限の支援を提供いたします」と既に記されており、いち早く「科学的ケア」を探索してきた。しかし、どんなにビッグデータから抽出した情報があっても、所詮その情報を扱うのは人であり、心が通わない介護では、ご利用者に真の安らぎと生きがいを感じていただくことはできない。多宝会の基本理念に「心こそ大切である」とある。多宝会の科学的ケアは、心のあり方を前提としており、心が通っているのである。これからも多宝会では、人間主義を貫き、最新の科学的介護を追求し続けながら、その使命と義務を全うしていきたい。

2002年から取り組み続けた「科学的介護」



「進化し続けるテクノロジーが人々の生活を豊かにしていく」というものであるが、昨今のコロナ禍もあり、

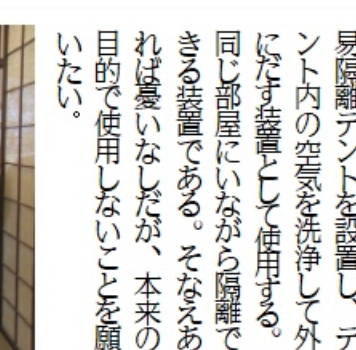
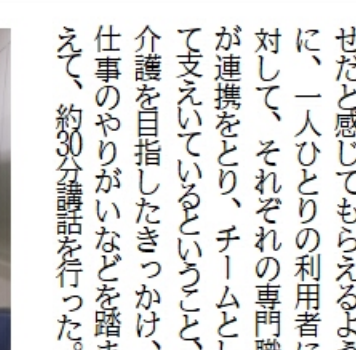
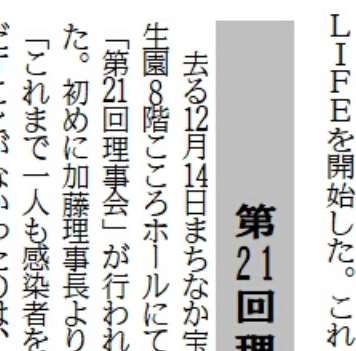
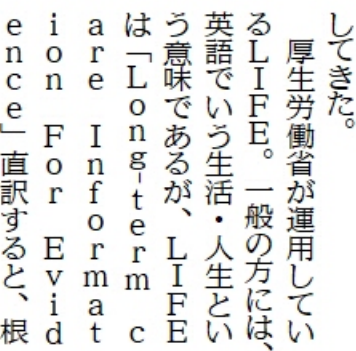
急浮上した言葉である。身近なDXとしてあるのが、在宅ワークに伴う「脱はんこ」。この動きは、民間企業のみならず行政までも巻き込んだ。人との接触を避けるための在宅ワークであるが、決裁のハンコをもらうために出社。これでは本末転倒である。そのため、行政を含め「脱ハンコ」の

可能である。システム構築以前は、紙ベースであった。紙の起案書に起案内容を記入し承認、その書類をまた施設に戻してバインダー等に綴じる。時間も手間もかかる作業であったが、システム導入により、合理化が各段とすすみ、確実なアライブ、不正防止等にもつ

ながった。もちろんペーパーを使用しないため、SDGsの一翼も担っている。しかし、このシステムを導入した理由は、介護の現場において、日々業務に追われている職員の負担を軽減し、働きやすい環境の構築を目指した結果であり、デジタル化そのものが目的ではない。また、他には、全施設長が参加する最高経営会議のリモート開催システムの構築やWeb面会システムの構築を行った。これら多宝会では、DXの意味である「デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること」。「既存の価値観や枠

を保持し、自立した日常生活を支援することを理念とした制度ではあるが、実際には、科学的に効果を実証された介護が充分に行われていなかった。そのため厚生労働省では、平成28年より通

により、介護現場から集まったビッグデータを基に、利用者一人ひとりにあった介護を行うことができる。もちろん多宝会でもこのシステムを利用しているが、多宝会では2002年に定められた「運営指針」の中に「ご利用者の主体的決定を尊重し、人間主義に立脚した「科学的ケア」を基本とする技術の向上に努め、最大限の支援を提供いたします」と既に記されており、いち早く「科学的ケア」を探索してきた。しかし、どんなにビッグデータから抽出した情報があっても、所詮その情報を扱うのは人であり、心が通わない介護では、ご利用者に真の安らぎと生きがいを感じていただくことはできない。多宝会の基本理念に「心こそ大切である」とある。多宝会の科学的ケアは、心のあり方を前提としており、心が通っているのである。これからも多宝会では、人間主義を貫き、最新の科学的介護を追求し続けながら、その使命と義務を全うしていきたい。



第21回理事会開催

去る12月14日まちなか宝生園8階こころホールにて「第21回理事会」が行われた。初めに加藤理事長より「これまで一人も感染者をだすことがなかったのは、職員の尽力による賜物である。今後も情報収集を行いながら、時代の流れに即して適応していく」と挨拶があった。その後、中間報告並びに補正予算の慎重審議が行われ、議案通り可決された。監事講評では「コロナ禍での施設運営お疲れ様です。新たにオミクロン株

により、介護現場から集まったビッグデータを基に、利用者一人ひとりにあった介護を行うことができる。もちろん多宝会でもこのシステムを利用しているが、多宝会では2002年に定められた「運営指針」の中に「ご利用者の主体的決定を尊重し、人間主義に立脚した「科学的ケア」を基本とする技術の向上に努め、最大限の支援を提供いたします」と既に記されており、いち早く「科学的ケア」を探索してきた。しかし、どんなにビッグデータから抽出した情報があっても、所詮その情報を扱うのは人であり、心が通わない介護では、ご利用者に真の安らぎと生きがいを感じていただくことはできない。多宝会の基本理念に「心こそ大切である」とある。多宝会の科学的ケアは、心のあり方を前提としており、心が通っているのである。これからも多宝会では、人間主義を貫き、最新の科学的介護を追求し続けながら、その使命と義務を全うしていきたい。

去る10月14日ラコバふくしまにおいて、福島県社会福祉協議会主催で「福祉・介護の仕事説明会」の一環で、東陵高校看護科2年生約35名にリモートにて「多職種との連携」と題して、まちなか宝生園副施設長松川綾子が講演をおこなった。デイサービスで利用者が幸せだと感じてもらえるように、一人ひとりの利用者に対して、それぞれの専門職が連携をとり、チームとして支えているということ、介護を目指したきっかけ、仕事のやりがいなどを踏まえて、約30分講話を行った。

この度福島県地域医療介護総合確保基金事業の助成金を利用して、簡易陰圧装置を設置した。この装置は、感染症に感染した方を同室内で隔離できる装置である。高機能のフィルタと紫外線を使用し、普段は空気清浄機として使用しているが、感染症を発症した場合、簡易隔離 TENT を設置し、TENT 内の空気を洗浄して外にだす装置として使用する。同じ部屋にいなから隔離できる装置である。そんなあれば愛いのだが、本来の目的で使用しないことを願っていた。

未来の看護師へ

去る2月17日まちなか宝生園8階こころホールにて「令和3年度第二回苦情解決第三者委員会開催」が開催された。今回も、各事業所からの参加人数を絞り、ディスタンスをとりながらの開催となった。各事業所の報告が行われ、コロナ禍関連の報告もあった。全ての苦情に関して、活発な意見交換を行い、課題解決およびサービスの質の向上に資する充実した精査・協議が行われ、第三者委員の方から、ご指導・ご意見があった。会議終了後「一人の陽性者

この度福島県地域医療介護総合確保基金事業の助成金を利用して、簡易陰圧装置を設置した。この装置は、感染症に感染した方を同室内で隔離できる装置である。高機能のフィルタと紫外線を使用し、普段は空気清浄機として使用しているが、感染症を発症した場合、簡易隔離 TENT を設置し、TENT 内の空気を洗浄して外にだす装置として使用する。同じ部屋にいなから隔離できる装置である。そんなあれば愛いのだが、本来の目的で使用しないことを願っていた。

この度福島県地域医療介護総合確保基金事業の助成金を利用して、簡易陰圧装置を設置した。この装置は、感染症に感染した方を同室内で隔離できる装置である。高機能のフィルタと紫外線を使用し、普段は空気清浄機として使用しているが、感染症を発症した場合、簡易隔離 TENT を設置し、TENT 内の空気を洗浄して外にだす装置として使用する。同じ部屋にいなから隔離できる装置である。そんなあれば愛いのだが、本来の目的で使用しないことを願っていた。

この度福島県地域医療介護総合確保基金事業の助成金を利用して、簡易陰圧装置を設置した。この装置は、感染症に感染した方を同室内で隔離できる装置である。高機能のフィルタと紫外線を使用し、普段は空気清浄機として使用しているが、感染症を発症した場合、簡易隔離 TENT を設置し、TENT 内の空気を洗浄して外にだす装置として使用する。同じ部屋にいなから隔離できる装置である。そんなあれば愛いのだが、本来の目的で使用しないことを願っていた。

令和3年度第二回苦情解決第三者委員会開催

去る2月17日まちなか宝生園8階こころホールにて「令和3年度第二回苦情解決第三者委員会開催」が開催された。今回も、各事業所からの参加人数を絞り、ディスタンスをとりながらの開催となった。各事業所の報告が行われ、コロナ禍関連の報告もあった。全ての苦情に関して、活発な意見交換を行い、課題解決およびサービスの質の向上に資する充実した精査・協議が行われ、第三者委員の方から、ご指導・ご意見があった。会議終了後「一人の陽性者

この度福島県地域医療介護総合確保基金事業の助成金を利用して、簡易陰圧装置を設置した。この装置は、感染症に感染した方を同室内で隔離できる装置である。高機能のフィルタと紫外線を使用し、普段は空気清浄機として使用しているが、感染症を発症した場合、簡易隔離 TENT を設置し、TENT 内の空気を洗浄して外にだす装置として使用する。同じ部屋にいなから隔離できる装置である。そんなあれば愛いのだが、本来の目的で使用しないことを願っていた。

この度福島県地域医療介護総合確保基金事業の助成金を利用して、簡易陰圧装置を設置した。この装置は、感染症に感染した方を同室内で隔離できる装置である。高機能のフィルタと紫外線を使用し、普段は空気清浄機として使用しているが、感染症を発症した場合、簡易隔離 TENT を設置し、TENT 内の空気を洗浄して外にだす装置として使用する。同じ部屋にいなから隔離できる装置である。そんなあれば愛いのだが、本来の目的で使用しないことを願っていた。

この度福島県地域医療介護総合確保基金事業の助成金を利用して、簡易陰圧装置を設置した。この装置は、感染症に感染した方を同室内で隔離できる装置である。高機能のフィルタと紫外線を使用し、普段は空気清浄機として使用しているが、感染症を発症した場合、簡易隔離 TENT を設置し、TENT 内の空気を洗浄して外にだす装置として使用する。同じ部屋にいなから隔離できる装置である。そんなあれば愛いのだが、本来の目的で使用しないことを願っていた。

感染防止対策



施設の話題をいち早くお届けする

多宝会 HOT LINE



ケアハウスのドライブ

地元の魅力を感じる今回の企画は、警梯朝日国立公園内の女沼へのドライブと土湯温泉街で餃子を食べようというものです。

女沼では、出発時には雨模様でしたが、着いたとたん晴れ間が見え、水面に映る木々が鮮やかでした。昼食は、餃子とラーメンに舌鼓をうちました。



デイサービスのドライブ

今回のドライブは、大笹生方面。フルーツラインを通り、建設中の道の駅、十六沼公園を訪れました。

道中、外の景色を眺めながら、お話し弾んでいました。昔の福島の話などもあり、昔を懐かしんでいるご利用者もいました。



デイサービスのクリスマス

今回のクリスマスではコースター作りとケーキバイキングを行いました。赤と緑のフェルトの生地で作った可愛いコースターを作り、その後、4種類のケーキのなかから好きなものを選んでいただきました。とても喜ばれ、おかわりする方もおられました。



ケアハウスの新年会

感染予防を徹底しながら新年会を開催しました。華やかな料理と楽しい余興で盛り上がり、獅子舞に囃まれて今年一年の健康を願ってお開きとなりました。「コロナ禍だけど季節の行事があると気持ちが晴れる」との声も聞かれ、これからの行事に期待を寄せている様子でした。



まちなか宝生園

デイサービスの忘年会

デイサービスで忘年会を行いました。傘玉入れ合戦や魚引き競争などで、汗をかいた後はサイダーで乾杯！その後の恒例のビンゴ大会では上位入賞者には、コップや靴下などの景品がプレゼントされました。



ショートステイでもクリスマス会

今回は2回にわけてクリスマス会を行いました。ビンゴゲームを行い、なかなか数字が揃わなく、残念がるご利用者や、当たりのご利用者も皆さん一喜一憂していました。上位の方には景品を、残念だった方には参加賞を。ケーキも食べて大満足な様子でした。



アリヴァーレの芋煮会

準備段階からたくさんのご利用者に参加していただき、笑顔あふれる時間になりました。皮むき器を使ったりして、会話を楽しみながら準備しました。食事中は「あったまるね」「食べ過ぎておなかいっぱい」とさらに笑顔があふれました。



紅葉ドライブ

土湯の湯愛舞台にでかけました。紅葉は終わりかけで少し寒空でしたが、そこから眺める土湯の風景等を楽しめました。しばらくぶりの外出で「何年ぶりに来たべね」等、会話し弾みました。景色を見ながら、饅頭と温かいお茶をいただきました。



ほのぼののクリスマス会

今年もサンタの衣装でクリスマス会です。サンタ衣装を着ることを、最初は恥ずかしがっていましたが、いざ着ると喜ばれていました。乾杯後、オードブルに舌鼓をうちながら歌ったりと大盛り上がりでした。



アリヴァーレのクリスマス会

今年はユニットごとに行いました。サンタの帽子をみんなでかぶり雰囲気を楽しんだり、プリンやヨーグルトなど職員が工夫をこらしたデザート堪能しました。余興ではウクレレの演奏、またクリスマスプレゼントもあり、楽しい時間となりました。



特養で旧正月のお祝い

旧正月イベントで団子刺し、絵馬の作成を行いました。団子に見立てたもなかや小飾りを枝につけて豊作や家内安全、一家繁栄、無病息災、コロナ撃退を祈りました。絵馬の作成では「一年の健康」をしたため、また今年も元気で過ごすことを皆さんで願いました。



デイサービスのクラブ活動

毎年恒例となった干支の置物作り。今年は虎です。丁寧に粘土を丸めて形を整え、黄色の紙で色を付けて土台が完成。その後、思い思いに虎模様を装飾しました。最後に目を入れて個性ある素敵な作品が完成しました。今年も良いことがありますように。



西部地域包括支援センター健康教室の実施

去る11月19日にJAさわやか部会役員より講師派遣の依頼があり、JAふくしま未来福島西支店で、健康教室を実施しました。さわやか部会で作成したお手玉に絡めての健康講話を依頼されたため、それに沿って講話を行ったり、いきいきももりん体操を、約一時間行いました。



クリスマス会

ユニットごとに企画をして、クリスマス会を行いました。2、3階ではチョコレートタワー、綿あめ、プリンケーキを満喫しながらクリスマスプレゼントのくじ引きを行いました。4、5階では、鍋、ちらし寿司を堪能し、プリンバイキングを行いました。



お菓子作り

芋巾着やモンブランケーキを作りました。お芋をつぶして丸めたり、市販のロールケーキにクリームや甘露煮で飾り付けをしました。皆さんが作ってくださったお菓子は、ほんのり甘くて、美味しく、あつというまにご利用者のお腹のなかにおさまりました。



〇年ぶりの新年会

今年の新年会は、10年以上ぶりに、目の前でお寿司をにぎってもらいました。マグロとネギトロ、玉子焼。寿司の他にも、茶碗蒸し、すまし汁、デザートもあり。



宝寿木村屋

おかわり自由で、皆さんたらふくいただきました。生ものが食べられないかたには、いなり寿司などを用意し、皆さんが食べられるよう、工夫しました。「新年早々、寿司を堪能し、温泉にはいって最高だな〜」と喜びの声をいただきました。今年も楽しんでもらえる企画を開催したいと思います。



多宝会ホームページには、平成29年4月30日91号より現在までの多宝会新聞が掲載されています。紙面での多宝会新聞で現在の記事を読み、Webで過去の新聞を読むのもおすすめです。



多宝会新聞バックナンバー

各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	法人本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	https://www.tahokai.jp Mail honbu@tahokai.jp